

## 平成27年度協働事業報告会（27年度事業実施分） 質疑応答

「自治・町内会ホームページ作成運営支援事業」（市民活動団体提案協働事業）  
（鎌倉シチズンネット / 地域のつながり推進課）

- Q 市民の目で見ると、この事業の内容や進め方について改善できそうな点はあったか（高齢の方が多いので、スマホ対応のホームページにする等）。
- A （団体）今回作ったホームページはスマホに対応している。KCNはNPO団体やその他団体のホームページを有料で作成しているが、町内会からは問合せがないので、今回の事業を提案した。この事業に興味をもった自治・町内会の中には、過去にホームページを作ったが、更新がうまくいかないで作り返えたいという団体もあった。結局は団体内で担当者が見つかったため事業を利用せず団体独自で作ることになった。町内会は高齢の方が多く、なかなか新しいことを積極的にやってみようという方が少ないという点で難しい。今回ホームページを作成した佐助自治会の会長は高齢だが熱心だったため出来上がった。
- Q 担当の方も高齢か。
- A （団体）担当の方は4～50代の役員。今年度協働事業に手を挙げずに自治・町内会が独自に新規作成した2件のホームページも、会長が興味を持ち開設に至ったようだ。このように中心になる人物が必要。
- Q 実際にホームページ作成を支援してどこが一番苦労したか。
- A （団体）自治・町内会の担当の方が知識があったため、マニュアルを事前に送付してある程度自分達で進めてもらい、その後打合せの場を設けて指導をした。あまり苦労しなかった。やはりある程度知識がある方がいれば難しくないのだと思う。
- Q コンテンツを作るための聞き取りには苦労しなかったか。
- A （団体）コンテンツは例を挙げたが、作ろうというところは何を広報したいのか既にアイデアを持っていた。
- Q 今回ホームページを作成した自治・町内会で、「こういう風にコミュニケーションが広がった」等の例はあるか。
- A （担当課）佐助自治会の会長に聞いたところでは、子ども会がホームページを活用してコミュニケーションをとっているらしい。ホームページを開設してサーバーをレンタルしたことでメールアドレスが作成できるようになり、活用していると聞いた。
- Q ガイドブックに載らない魅力を自治・町内会は持っている。佐助自治会は佐助稲荷等があるが、観光の観点から良かった点はあるか（観光客が増えた等）。
- A （担当課）観光の面では佐助自治会から聞いていないが、観光のプロモーションという使い方も可能だと思う。